

つなぐ 良きロータリーの伝統と精神を次世代に

2025-26 年度
国際ロータリー
メッセージ

会長 安藤賢治 幹事 平松暁仁 会報委員長 辻井 晃



事務所：〒501-6241 羽島市竹鼻町 17-3 TEL：058-392-2888 FAX：058-391-2260

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30 例会場：西松亭 Email：hashimar@ccn.aitai.jp

zoom ID:556-098-4805 / PASS:4361 URL https://hashimarc.com



本日のプログラム

第 2715 回 2025 年 7 月 1 日 (火)

『会長就任挨拶』 会長 安藤 賢治

お祝い行事

◎例会後、第 1 回理事役員会

次回例会のご案内

第 2716 回 2025 年 7 月 8 日 (火)

『クラブフォーラム』親睦家族・出席委員会

卓話 栗山 浩幸親睦家族・出席委員長

新会員卓話 浅野 高弘会員

米山奨学生 奨学金贈呈

前回例会の記録

第 2714 回 2025 年 6 月 17 日 (火)

『最終例会』

卓話「一年を振り返って」

会長 荒木 義男

米山奨学金贈呈



米山奨学生

サチラ

沙其拉さん

地区委員長退任花束贈呈

岩田 勝美

地区研修情報委員長

2022-23～2024-25 年度



退会記念品贈呈

林 秀樹君

在籍：22 年 6 ヶ月



会長の時間



会長 荒木 義男

皆さんこんにちは。まずはお客様のご紹介です。米山奨学生のサチラさんです。どうぞごゆっくり楽しんでください。

さて、ここからは今年最後の会長の

時間です。先週のこの時間には、会員満足度アンケートの結果について、皆さんと一緒に確認していただきましたが、その続きをお話し致します。

最後の方で会員増強について触れましたが、世界のロータリー会員数は減り続けています。日本の出生率はどんどん低下していて 2050 年には日本の人口が 1 億人を切るような状況、これを亀井ガバナーは静かな国難とおっしゃいましたが、そんな中でどうやって会員数を維持していくのか非常に難しい時代に入っています。

今から数十年前ならロータリアンは社会的なステータスであり、まさにその地域の業界を代表する立派な経営者の集まりで、会員になりたくてもなかなかないという構図がありましたから、会員増強には苦勞しない時代もあったと思います。この地区においても岐阜 RC と大垣 RC は今でもそうだと聞きますが、他の大多数のクラブは会員減少による存続の危機に直面しているのが現実だと思います。

先週私は、何が何でも会員を増やせというのなら、その障害となっているかもしれないたくさんあるロータリーのルール、例えば時間的拘束となっている例会の在り方や寄付金などのお金の負担を思い切ってなくしたり変えたりして、もっと自由度を高めて加入しやすい工夫をしていったらどうかと、いささか乱暴な発言を致しましたが、皆さんはどうお考えでしょうか。

ちなみに、私たちのルールである国際ロータリー定款、すなわち私たちが順守すべきクラブ定款はどのように決められ、改正されているかご存知でしょうか。それは 3 年ごとに開催されている規定審議会、ロータリーの国会と呼ばれています。

今年 2025 年がその年で、世界の全 515 地区から代表議員が集まり、86 件の制定案を審議したようです。日本からは 34 地区が参加し 26 件の制定案が提出され、日本国内では関心が高いと思われる「クラブ例会及び出席」について、日本から提出された 4 件はすべて否決さ

れました。

どんな内容だったのか詳細は分かりませんがそのタイトルのみご紹介しますと、「クラブ例会の開始時刻と終了時刻を規定する件」、「例会取り消しの頻度を改正する件」、「連続欠席による終結の手続きを改正する件」、そして「メイクアップ期間を改正する件」、これについては規定審議会に第2630地区の代表議員として出席された岐阜加納 RC の木村パストガバナーから直接お聞きしましたので解説いたしますが、以前は欠席した例会の前後14日以内にメイクすることと定められていましたが、2019年に年度内にメイクアップすればよいと緩和改定されています。

ただしこれは、例えば6月30日に最終例会があつて、何らかの理由で出席できなかった場合、メイクアップできる期間は年度内となっていますが、メイクアップできる他クラブの例会は、年度内にはもうありません。ですから何年も皆出席を達成していた実績がそこで途絶えてしまうわけです。日本のロータリアンは皆出席を目標としている方も多いと思いますので、おそらく年度マタギのメイクアップを提案したと思われるこの制定案が、なぜ否決されたのか気になるところです。

その理由としては、ロータリーの友6月号にその記事がありましたが、規定審議会はロータリー全体の発展のために有効な方策は何かを議論する場であつて、クラブの運営に関する問題は各クラブ内で議論して決めればよいことである。2016年の規定審議会でもクラブ例会と出席に関しては、柔軟性の導入によりクラブ定款に従わない規定を、クラブ細則で定めることもできるようになっていて、いわば自治権が認められているのであるから、その趣旨からいえば上記の4件についてはその賛否を問うレベルのものではなく、審議に値しないということだったようです。

翻って今回の会員満足度アンケート、自由に記載していただける設問で、「14. 例会参加時の服装について」は、清潔でふさわしい服装が良いから自由で良いまで、多様な意見に分かれています。もちろん服装については定款や細則、内規にも規定はありません。どうしていくべきかは、皆で話し合つて決めて行けば良いと思っています。

「15. 例会開催日と開催時間の希望」についても、今のままで良いにプラス、夜間を増やしてほしいという意見がありました。確かに毎回火曜日のお昼とわかつてはいても、繁忙期で人手が足りないとか、どうしても外せない取引先との打ち合わせなどで、日中に時間を取られるのは厳しいとのご意見もあると思います。

多様性の時代とはそれぞれの考え方や違いを尊重しようということであつて、決して何でもありではなく、一定のルールがあつて然るべきだと思います。ただ、ルールをあまり明確に詳細に決めすぎるとかえって窮屈になりますし、決める際には取捨選択のための共通する判断基準、ものさしがないといけません。それを私たちはすでに持っています。そうです「4つのテスト」です。言行はこれに照らしてからと皆で唱和しているあれを活用し

て、いろんなこと決めて行つてはいかがでしょうか。

そして、今回のアンケート結果を見て、これからのクラブ運営のために必要なのはやはり「不易流行」の流行であり、大胆に変えていくことに挑戦していかなければ明るい未来はないとも気づきました。

会長職は今月をもって辞することになりますが、これからもクラブ奉仕に親睦に全力で取り組んでいくことを誓います。1年間ご清聴いただき、誠にありがとうございました。

一年を振り返って

会長 荒木 義男

皆さん、改めましてこんにちは。いつもこんなご挨拶で始まった例会もいよいよ今日で最後、早いもので会長職をお預かりしてから一年が経ちました。振り返ってみますと本当に多くの思い出と学びがあり、そして感謝、感謝の1年でございました。

以前にも申しましたが、私は基本的に真面目だけが取り柄のアドリブが利かない意外とつまらない男で、何事もきっちり準備をしないと気が済まない、前に進めない性格です。

ですから、この会長職をお引き受けした時も、一番最初に頭をよぎったのが会長の時間です。会長たるもの、会長の時間に命を懸けるとか、会長の時間が充実しているからこそ、会員は今日も来てよかったと実感するんだとか言われ、いったい何を話したらよいのか、私にそんな大役が務まるのかと、プレッシャーに押しつぶされそうでした。

と同時に、お引き受けした以上は、私なりの会長の時間を作っていきたい、かつて自分がそうであつたように、なかなかロータリーのことが掴めない若い会員さんに、ロータリーが何であるかをできるだけわかりやすく伝えていく時間にしたいと考え、自分自身の疑問解消も同時進行しながら、ロータリーの歴史を一つずつ紐解いていきました。ここで過去の会長の時間を少し振り返ってみますと、

○120年前にポール・ハリスがロータリーを作ろうと思った理由は何だったのか？

→晩年のインタビューでポールはこう答えています。

「寂しかったから」。当時のシカゴは荒れに荒れ、マフィアが蔓延るルール無用の街でした。そんな中であつて青年弁護士だったポールは仕事もなく、いつも一人で寂しい思いをしていました。これをどうにかして変えていきたい、正しくビジネスができる仲間が欲しい、仲間と親しく語り合いたい、この街にそんな職業人のクラブを作ろう。このエネルギーがクラブを作るきっかけとなり、声をかけ4人のメンバーが集まりロータリーの原型がスタートしました。ロータリーが fellowship、すなわち親睦を大切にしている理由のひとつです。

○ロータリーは親睦ありきと言いますが、どういう意味だろうか？

○入会を拒否したドナルド・カーター事件って何？

○なぜみんなで唄うのか？そのきっかけは？

○決議23-34って何のこと？

→1923年の国際大会で採択された、ロータリーの最も重要な奉仕理念である「超我の奉仕」について定められたものです。私は入会直後の研修会でこれを知りました。そしてもう一つ、ロータリアンにとって、とても大切な実践倫理である「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」。この意味を自分なりに理解でき、腑に落ちた時からロータリアンとしてのスイッチが入ったように思います。

○ライオンズはロータリーから分離派生していったというのは本当？

○なんで百万ドルの食事っていうの？

私が常日頃ロータリーに対して抱いていたこれらの疑問を、会長の時間で改めてひとつずつたどっていくことができたおかげで、ロータリーもこれまでに紆余曲折、いろんなことがあったからこそ現在の形になり、今その恩恵を私たちは受けることができている。ロータリーがいかに素晴らしい価値あるものであるかを、心で理解することができたと思っています。

1年の振り返りにお話しを戻します。思い起こせば、前半はクラブ協議会での会長方針の発表から始まり、7月の早朝例会、高校生も一緒でした。8月は長良川国際会議場でのインターアクト年次大会と納涼例会での鵜飼観覧船、9月は1回目の会員増強夜間例会、10月は歴代会長会で貴重なご意見を賜り、名張での地区大会と9RC合同例会、指名委員会もありました。11月にはR財団補助事業を成功させ、12月には年次大会と年忘れ家族例会と無我夢中で突っ走ってまいりました。

ところが年明け早々に思わぬ事態が起こりました。新年互礼会の欠席です。気合を入れて準備万端で臨もうとしていたその日に限って、コロナ感染でまさかの欠席。会長にメイクアップは無しと決め込んでいましたので、この1年で唯一の欠席が新年の幕開けになろうとは思ってもみませんでした。今振り返れば、これはロータリーの神様が「荒木、もうちょっと肩の力抜けよ」と言ってくれたのかもしれませんが。実際のところ、会長の時間を考えなくても良い週末がこんなにも穏やかで、ゆっくりと時間が流れているのかと実感したのも事実です。毎週って、本当に大変でした。

それから後半も皆さんの多大なるご協力のおかげで、数々の素晴らしい奉仕活動と親睦行事を積み重ねていくことができました。主だったところをご紹介しますと、1月は福寿工業様でのロータリーソングのない職場例会でした。3月には社会奉仕委員会主催の仕合せ事業で羽島学園を見学、湯元館遊季の里での観桜例会は、ととても楽しいつばみの会でした。4月には桑名市で開催された地区研修・協議会、5月には次年度のクラブ協議会で、各委員会の活動計画の発表がありました。そして6月の初めには創立記念夜間例会を迎えることができました。本当にたくさんの大切な思い出があります。

そしてなんといっても、今年目標としておりました会員増強3名、大橋さん、近藤さん、浅野さんという新た

な仲間をお迎えして、年度末までに目標達成できたことは、本当に嬉しい一言です。

そんな中でも1年を通してやはり最も心に残っておりますのは、障害のある方をお招きして11月に開催したクラシックコンサートです。虫賀幹事からR財団補助事業でどんなことがしたいですか？と尋ねられた時、実は自分の長女が障がい者で、音楽が大好きだけれども普段なかなかコンサートに行くことができない。そういう方たちにも本物の音楽を聞かせてあげたい、本当に単純に、自分の希望を幹事に伝えただけでした。

ところが虫賀さんは肅々と準備を進めてくださり、私の役目は美しい演奏家の皆さんと仲良くすることと、当日の歓迎の挨拶を考えることだけでした。そして運営に携わってくださった会員の皆様のご協力のおかげもあり、コンサートは無事開催にこぎつけることができ、演奏会が進むにつれて客席いっぱい広がった笑顔、楽しく手拍子をする方々、思わず発したブラボー！！の掛け声、終演後にお招きした施設の管理者の方が私のところへやってきてこうおっしゃいました。「素晴らしい贈り物をありがとうございました。今日のことは一生の思い出になると思います。」本当に大成功でした。日々の仕事の中でもいろんな経験がありますが、これほど感動することはなかなかありません。やってよかった～と心の底から実感しました。

そしてもう一つ、大切な出来事があります。それは羽島北高校インターアクトクラブとの活動が活発になり、高校生の皆さんといろんな奉仕活動ができるようになってきたことです。いつかの会長の時間の中で、日本の若者は自分に自信が持てない、自分は役に立たない人間だと思っている割合が約50%もいるという、とある大学教授の調査結果をお伝えしましたが、それが間違いではないかと思えるくらい、羽島北高校の生徒さんたちは前向きで積極的な子が多いです。

もちろんこれは青少年奉仕委員会の尽力と顧問教諭の郡先生のご協力の賜物でもあります。昨年の7月には韓国交換学生派遣事業に松井さんという女子学生を送り込むことができ、彼女は日本派遣団の団長まで務めてくれました。帰国報告会では、たった5日間の韓国滞在だったにもかかわらず、人生観が変わるくらい素晴らしい経験ができたとか、韓国にもう一つ大切な家族できたとかの貴重な体験を語ってくれて、これこそが国際交流だ！と言える事業を提供できたことのやりがいと感動を、皆さんと共有することができたと思っています。

また、恒例となりつつある羽島駅前フェスでのポリオ撲滅募金では、長時間の募金活動にもかかわらず、高校生の皆さんは元気な声を張り上げて、多大なる成果を上げてくれました。先のクラシックコンサートと、ポリオ募金活動の一コマが、記事としてロータリーの友に掲載されたことも良き思い出の一つです。

これらの経験は、ヒット曲の歌詞ではありませんが、川の流れのように次年度でのインターアクト岐阜西濃グループ協議会や、4年後の第2630地区インターアクト年次大会の開催へとつながる原動力になっていくと思

います。

この1年を通じて、会長方針の副題として掲げました「より良い未来の実現のために」を胸に、様々な活動を皆さんと行なってまいりましたが、私は改めて認識いたしました。奉仕とは与えることではなく、共に喜び、共に感動を分かち合うことだということを。奉仕をさせていただいたつもりが、気が付けば私自身が一番多くの学びと力をいただいております。これこそがロータリーの素晴らしさであり、ロータリアンとしての誇りではないかと感じております。

もちろん、至らぬ点も多々あったかと存じますが、温かく見守り支えてくださった理事役員の皆様、委員長、会員の皆様、心より御礼申し上げます。

最後になりますが、やはりこの人なくして会長荒木は成り立たなかったと思います。まさに影に日なたに支えてくださった虫賀幹事、例会の段取り、理事役員会の議案、連絡調整、各種行事の事前確認、数え上げればきりがありません。私の悪い癖でつい何でも自分でやろうとすると虫賀幹事は必ず、「会長は何もしないでください。ここは私がやっておきます。会長にやらせたら、私が叱られます!」と甘やかされておりました。そして、さらにそのまた縁の下の方の力持ち、事務局黒田さんにも大変助けていただきました。このお二人には心からの感謝をお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。

来月からは新たな会長のもと新体制となり、次期幹事の奮闘ぶりが目に浮かぶようです。この二人の活躍によって羽島ロータリークラブはますます発展していくことでしょう。私も一会員としてこれからもできる限りのお手伝いをさせていただきます。

本当に最後になりますが、羽島ロータリークラブの更なる発展と、会員皆様のますますのご健勝を祈念いたしましてお手を拝借（最後の冗談です(^_^)♪）

これをもちまして、私の退任のご挨拶とさせていただきます。1年間、本当にありがとうございました。

バッジ交換



◀ 2024-25 年度
荒木会長より
2025-26 年度
安藤会長へ

2024-25 年度
西松副会長より
2025-26 年度
佐溝副会長へ ▶



◀ 2024-25 年度
虫賀幹事より
2025-26 年度
平松幹事へ

委員会報告

出席委員会

- 本日の出席率
出席規定会員数 36名中 29名 80.56%
- 6月3日の補填出席率
出席規定会員数 34名中 31名 91.18%

ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

- ◆荒木 義男君 虫賀 大輔君 加藤 宗雄君
平松 暁仁君 安藤 賢治君 佐溝 勝樹君
川崎 正一君 岩田 勝美君 森 輝廣君
西松 永根君 松田 和彦君 栗山 浩幸君
浅野 高弘君 久米 勉君 南谷 茂伸君
木寺 祐樹君 天野 洋和君 山下 正弘君
林 秀樹君 佐藤 裕昭君 青木 秀益君
杉山 大地君 青木平七郎君 辻井 晃君
加藤 隆康君 近藤裕美さん 大橋 竜二君

2024-2025 年度最後の例会となりました。今日は荒木会長から「一年を振り返って」の卓話をいただきます。一年間お疲れさまでした。

- ◆荒木 義男君
本日を持ちまして、会長職を終了いたします。
一年間本当にお世話になりました。
ありがとうございました。

本日のニコニコBOX	27,000円
6月のニコニコBOX	100,000円
2024 - 25 ニコニコBOX	1,430,000円

◎仕合せ貯金

- 荒木 義男君 佐溝 勝樹君 森 輝廣君
林 秀樹君 南谷 茂伸君 山下 正弘君
松田 和彦君

本日の仕合せ貯金	7,000円
6月の仕合せ貯金	22,000
2024 - 25 仕合せ貯金	168,000円
仕合せ事業（羽島学園へ）	150,000円

幹事報告 (第2714回)

- 6月20日(金) 第5回IDMが開催
- 6月22日(日)・23日(月) 羽島RC・ニコニコ同好会 合同打ち上げ旅行が開催
- 6月24日(火) は休会
- 6月28日(土) 新旧理事役員懇談会が開催
- 6月30日(月) 新会員歓迎会が開催
- 次回例会は7月1日(火) 2025-26年度『第1回例会』安藤会長就任挨拶
例会後、第1回理事役員会
- 2025-26年度地区補助金支給内定通知
プロジェクト名：迫る、自然災害！ 羽島ボランティア団体と学ぶ
地区補助金支給予定額 386,784円(\$2,686)
- 7月のメイアップ 受付一覧は、近日中にホームページに掲載
- 回覧内容
 - ① 2025-26年度国際ロータリー会長選出について
 - ② 国際ロータリー規定審議会報告(資料)
 - ③ (財)ロータリー米山記念奨学会より『ハイライトよねやま』

《第12回理事役員会 報告》

- 青少年奉仕委員会 予算について
 - ・ インターアクト協議会予算について
…次年度(7/1) 理事会にて承認実行
 - ・ クラウドファンディングは有志にて
 - ・ 各委員会予算については、早めに理事会にあげる
 - ・ クラブとして各会員(@5,000) 支援と本会計(青少年奉仕委員会費) あわせて30万円贈呈 承認



本日の例会の食事



7月のお祝い

***** 皆出席表彰 *****

9年間 皆出席	安藤 賢治君
4年間 皆出席	栗山 和洋君
3年間 皆出席	栗山 浩幸君
2年間 皆出席	加藤 隆康君
2年間 皆出席	青木 秀益君

***** 会員誕生 *****

横山 方彦君 (18日)

***** 夫人誕生 *****

南谷 恵子様 (15日) 輿石 明美様 (26日)

***** 結婚記念 *****

横山 方彦君 (18日) 辻井 晃君 (22日)

フランチェスコ・アレツツォ氏
(イタリア、ラゲザ・ロータリー
クラブ所属) が2025-26年度国
際ロータリー会長として理事会に
より選出されました。アレツツ
氏は7月1日に会長に就任しま
す。



2月の2025年国債協議会で発表された2025-26年度会長メ
ッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそ
のまま継承されます。(2025. 6. 14 RI ニュースより抜粋)

羽島RC・ニコニコ同好会 合同打ち上げ旅行

日程：6月22日(日)～23日(月)

場所：焼津マグロ料理・米山梅吉記念館

大箱根カントリークラブ



羽島北高等学校吹奏楽部へ支援金贈呈

6月24日(火)

会長・幹事・青少年奉仕委員長

